

「明るい民主県政をつくる会」

茨城県知事選挙の結果についての声明

2013年9月10日
明るい民主県政をつくる会
会長 谷萩陽一

(1) 9月8日、投開票された茨城県知事選挙で、明るい民主県政をつくる会の田中候補は、257,625票、得票率34.47%を獲得しましたが、当選にはあたりませんでした。ご支援をお寄せいただいた県民のみなさん、暑い中でご奮闘していただいた「明るい会」のみなさん、心からお礼を申し上げます。

また「長すぎる県知事を変えてほしい」という切実な声にこたえられなかったこととお詫びいたします。当選には至りませんでした。橋本候補を追い詰め、得票を大きく伸ばしたことは、善戦健闘であり、県政をかえる大きな力になると確信します。

(2) 今回の知事選で田中しげひろ候補は「くらしが一番 力あわせて安心と希望の茨城に」をメインスローガンに5つの基本政策、①県民所得と雇用をふやす②医療・福祉・教育の充実③原発をなくし、放射能対策と震災復興の加速④国いいなりのムダな大型開発を止め、豊かな自然をまもる⑤憲法を活かし、県民が主人公の茨城県政への転換を訴えました。現職橋本知事との政策の争点は明確でした。田中候補が掲げた公約は県民要求とかみ合い、新しい県政の方向を示すものだと確信します。

(3) 6選を果たした橋本知事は、引き続き4年間県政をあずかることとなります。県民のくらしや福祉の充実、東海第二原発の再稼働問題、消費税やTPPの対応など課題が山積しています。「明るい民主県政をつくる会」は選挙中に掲げた公約実現のために全力を尽くします。

(4) いままでにはない有利なチャンスを生かしきれなかったのは、「明るい会」としての活動量と組織力の不足があげられます。明るい会のネットワークを拡げ、すべての県民の力で、4年後には必ず県民が主人公の県政をつくるため奮闘する決意です。